

『長野県上田千曲高等学校[定時制課程]の「3つの方針」』

(1)「生徒育成方針」

本校は、地元産業界の要望に応え昭和36年の発足以来、東信地区唯一の定時制機械科として、また意欲を持つすべての人に開かれた学びの場として、企業で即戦力となる人材を育成し続けてきました。

- ① 強い意志を持って、昼間働き、夜4年間かけて学ぶことにより、やればできるという達成感と基本的な生活習慣を身につけ、自己を見つめ直し、新たなことにチャレンジする力を高めます。
- ② 少人数であることのメリットを生かし、同じ目的を持った仲間との支え合い、および生徒一人ひとりにきめ細やかに寄り添う職員との関わりを通して、温かい雰囲気の中で自己と他者を認め大切にすることを知り社会性を伸ばします。
- ③ 地元企業を知り、「ものづくり」を学ぶことを通し、また機械加工の基礎である旋盤・測定では技能検定3級程度の技能習得を目指し、即戦力として将来地域社会を支えることのできる人材を育成します。

(2)「教育課程編成・実施方針」

企業で即戦力となりうる技能を身に付けるために、1年次から機械加工の実習に取り組み段階的に学習を進めていきます。

1年次から積み上げてきた機械加工の基礎的な知識と技術の習得を生かし、4年次には「総合的な探究の時間」で課題（製品）の設定、設計、加工、組立てを行い、その内容・成果を発表し、自身および相互で評価を行うことにより、「ものづくり」を通じた職業人としての社会的自立を目指します。

工業技術が我が国の発展を支えてきた歴史、現代社会への貢献を学ぶことを通し、就労への意欲を高め、すべての学びが無駄なく関連し合っていることを理解します。

就職試験にも対応できる基礎学力の定着と自己表現力の充実のため、4年間を有効に利用し、少人数でのきめ細かな指導による個々に応じた学び直しを行い、生活体験文や、生徒会誌「雑草」の原稿作成を通して自らを語ることのできる力を養います。

地元企業の理解を深めるため、積極的に企業見学や企業連携を行います。

(3)「生徒募集方針」

本校は、「ものづくり」をキーワードに地元との関わりを大切にしながら、機械加工の基礎的な技能を習得することのできる学校です。また、小規模の落ち着いた雰囲気の中で、4年間かけてじっくり学ぶことができます。

働きながら学ぶことを考えている人、「ものづくり」に興味がある人、機械加工の技能を身につけたいと考えている人、小規模の落ち着いた環境での学習を希望する人を待っています。